



2014年7月18日

テムリック株式会社

各位

**TM-411 の好中球減少症の適応に関する
技術提携契約の締結**

テムリック株式会社(本社:東京都新宿区 社長:浴本 久雄、以下「当社」)は、CHILDREN'S HOSPITAL LOS ANGELES(所在:米国ロサンゼルス、以下「CHLA」)と当社が保有する開発コード TM-411(一般名:タミバロテン)の好中球減少症(Neutropenia: NP)に関する技術提携契約を2014年7月18日付で締結しました。

当社は、TM-411とG-CSF製剤との併用による好中球減少症の予防・治療薬をCHLAと共同で開発する契約を締結するとともに、グローバルでの開発・販売権を獲得いたしました。

これまで当社はTM-411を各種悪性腫瘍に対して腫瘍の縮小あるいは消失効果を示す抗悪性腫瘍薬として開発してまいりましたが、このたび抗悪性腫瘍薬により生じる副作用を軽減あるいは抑制することにより患者さんのQOL向上に貢献する支持療法剤としての開発に取り組むこととなりました。

TM-411はがん細胞の増殖阻害、分化誘導、アポトーシス誘導と多彩な生理活性を有しています。これまでのTM-411の抗悪性腫瘍薬としての開発は、がん細胞の増殖阻害・アポトーシス誘導に力点をおいた開発でありましたが、このたびCHLAの研究者がTM-411の分化誘導に着目し、抗悪性腫瘍薬の投与によって発症する好中球減少症に対してG-CSF製剤との併用による回復促進作用を見出し、特許出願いたしました。

好中球の血液中での半減期はおよそ1日と短く、速やかに骨髄から供給される必要があります。骨髄に含まれる造血幹細胞から前駆細胞を経て好中球が供給される過程においてG-CSF製剤は主に好中球数の増加に寄与し、TM-411は強力な分化誘導作用を発揮して、主に好中球の抗菌活性の増強に寄与いたします。それぞれの薬剤メカニズムが異なることから、患者さんにとって有効な治療薬になると期待しております。

今後、当社はCHLAと連携しながら開発を進めるとともに、積極的にライセンス活動を行ってまいります。

※タミバロテン

東京大学薬学部において創製されたレチノイン酸誘導体(レチノイド)で、既存薬に比べ化学的安定性並びに安全性が改善された、強い分化誘導活性を示す薬剤です。国内においては東光薬品工業株式会社が開発し、2005年4月11日に「再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病(APL)」の治療薬として承認され、2005年6月「アムノレイク錠2mg」として発売されました。





※G-CSF(Granulocyte-Colony Stimulating Factor)製剤

遺伝子組換え技術によって生産されるタンパク質製剤であり、骨髄を刺激して白血球の一種である好中球の増殖を促す効果があります。抗がん剤や放射線治療の副作用である骨髄抑制が起きたときや、造血幹細胞移植の際などに、好中球減少症の改善や予防のため用いられます。全世界での売上高は5000億円超。

● テムリック株式会社

本社 東京都新宿区北新宿 1-12-12

資本金 1,000万円

代表者 代表取締役社長 浴本 久雄

業務内容 がん領域に特化した創薬事業

URL: <http://www.tmrc.co.jp/>

● CHILDREN'S HOSPITAL LOS ANGELES

所在 4650 Sunset Blvd, Los Angeles, CA 90027, USA

President & CEO Richard D. Cordova, FACHE

概要 年間患者数104,000人、総医師数100名を超える米国屈指の小児総合専門病院で、研究者により見出された研究結果に基づいてFDA、NIH、NCI等からの助成金により実施する医師主導臨床試験や企業主体の臨床試験・治験を実施する総合病院で、臨床現場に即した医薬品の研究開発力や研究開発能力を有している。

URL: <http://www.chla.org/>

*このリリースに関するお問合せ先

テムリック株式会社

東京都新宿区北新宿 1-12-12

Tel: 03-6279-1085

